

町の行事あれこれ



開花が遅くなった梅(梅まつり)



護摩堂太鼓(護摩堂山開き)



阿闍梨による祈祷(護摩堂山開き)



あじさい園のあじさい



お祓い(あじさい園開園式)



五社蛸の夕べ

お知らせ

議会を傍聴してみませんか。次の定例会は**9月10日(月)**からの予定です。
 請願は**9月3日(月)**までに提出されたものを9月定例会で審議します。

編集後記

議会だよりの表紙を見て、「あれ？」と思った方もおられたのではないのでしょうか。表紙の写真が【花シリーズ】から【町の文化財シリーズ】に変わりました。

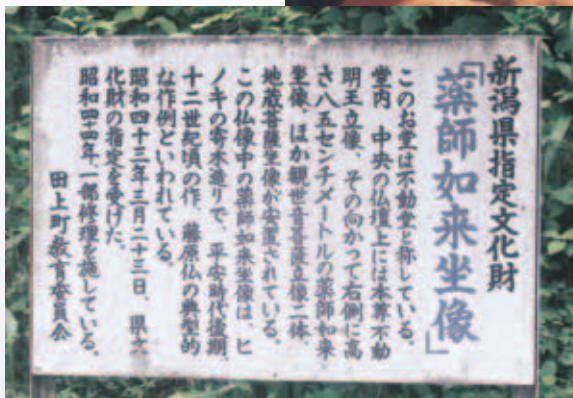
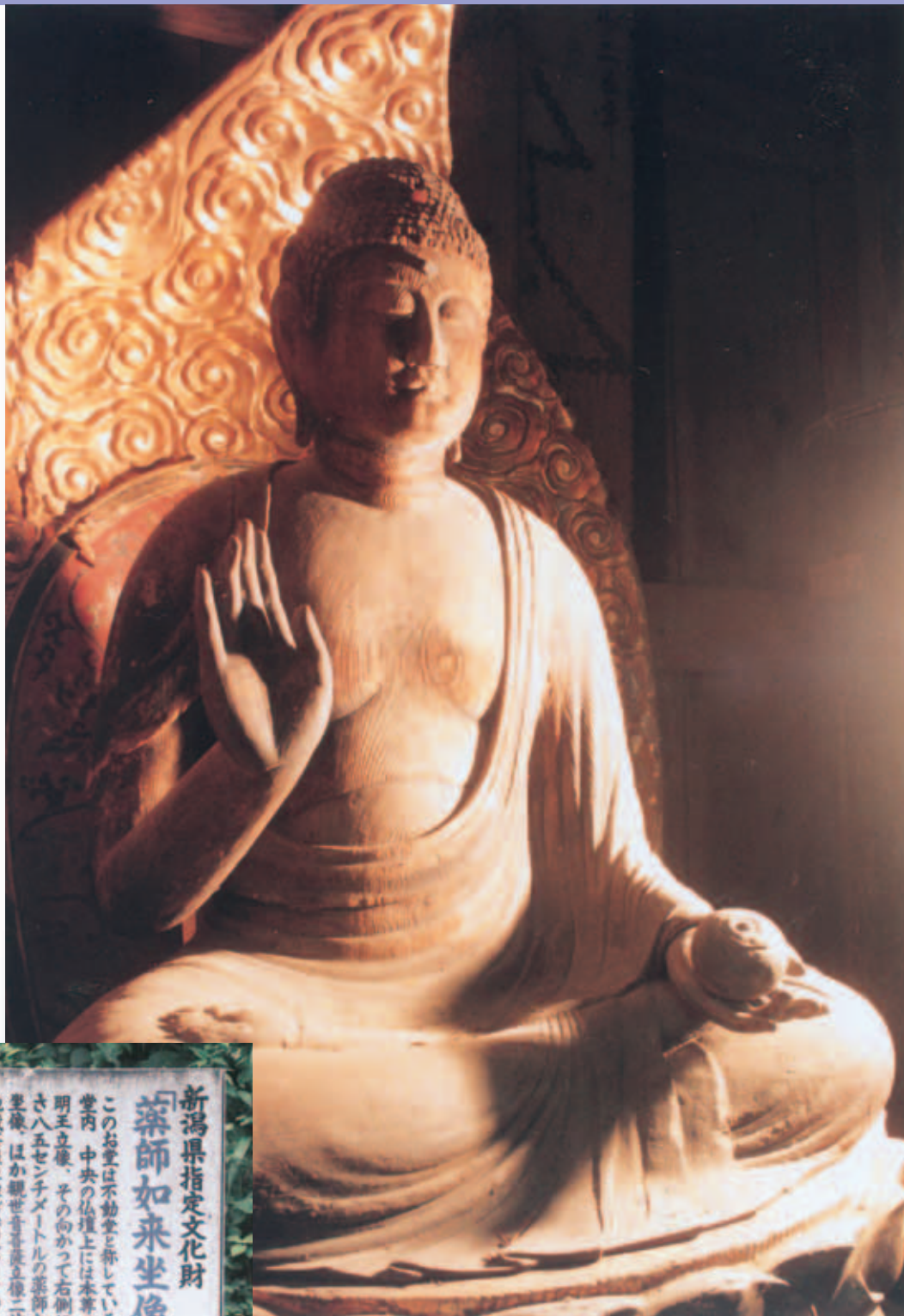
私達の町には、国、県、町指定の文化財が15件あります。この中の4件を紹介する予定です。

今年も降雨災害の時期になりました。防災グッズの点検をしておきましょう。

(松原 記)

委員長 川口與志郎
 副委員長 今井 幸代
 委員 松原 良彦
 委員 川崎 昭夫
 委員 皆川 忠志
 委員 熊倉 正治
 委員 浅野 一志
 委員 有川りえ子
 委員 椿 一春

田上町議会だより



▲ 川ノ下薬師如来坐像(県指定文化財)

6月定例会、請願、陳情P2~3
5月臨時会概要、全員協議会P4
一般質問P5~11
付託案件審査報告P12~13
所管事務調査報告、一部事務組合議会報告P14~15
町の行事あれこれ／編集後記P16



■平成24年7月27日 発行



「子どもの医療費助成を拡充する」
条例改正案などを可決

6月定例会の経過

6月定例会は、8日間にわたり開催され、初日の18日には、行政報告で国・県道、河川等、公共事業の工事個所予算の概要報告、各常任委員会及び各一部事務組合議会の報告が行われました。

条例改正や一般会計、各特別会計の補正予算7議案が町長の提案説明後、各常任委員会に審査が付託されました。後期高齢者医療広域連合規約

の変更議案は即決で可決され3議員が一般質問に登壇しました。19日には4議員が質問し、町政に対する熱い議論が交わされました。

21日には、総務産経常任委員会、22日は社会文教常任委員会、それぞれ付託議案と請願審査が行われました。

最終日の25日、本会議においては、平成23年度一般会計の※繰越明許費、※県央土地開発公社の事業報告、事業計画の報告があり、各常任委員会に付託された議案及び請願審査の委員長報告が行われ、討論・採決の結果、全て可決承諾しました。



《子ども医療費助成事業拡充のイメージ》

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
区分	就学前							小学校					中学校				
通院	1・2子世帯	町単独で実施済															
	3子以上の世帯	県単独の助成制度							県単拡充								
入院	1・2子世帯								県単独の助成制度					町単拡充			
	3子以上の世帯								県単拡充								

請 願

請願番号	件 名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 1 号	直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書提出に関する請願	新潟市西区山田2310-5 国土交通労働組合 北陸建設支部 北陸技術分会 分会長 長谷川 学	採 択	内閣総理大臣 総務大臣 内閣府特命担当大臣 (行政刷新) 財務大臣 国土交通大臣 北陸地方整備局長 新潟県議会議長 新潟県知事

陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 1 号	水俣病特別措置法の申請期限延長等を求める陳情	新潟市中央区沼垂東6-4-12 沼垂診療所内 新潟水俣病阿賀野患者会 会長 山崎 昭正

議会からのお知らせ

町政に対する要望等は請願書・陳情書として議会に提出することができます。

○請願書

請願書を提出する際には、1名以上の議員の紹介が必要です。

請願書は、表題を付け、内容がよくわかるように記入してください。

また、請願者の住所・氏名を記入し押印をしてください。法人による請願は、名称と代表者の氏名を記入し、代表者印を押印してください。

請願書は、議会に提出され、審議されます。

○陳情書

陳情書を提出する際は、議員の紹介は必要ありません。

請願書と同様に住所・氏名を記入し、押印をお願いいたします。

陳情書は、その写しを議員に配付するのみとなります。

用語解説

※¹繰越明許費

予算は会計年度独立の原則によって、翌年度に繰越して使用できないが、年度内に完了することがどうしてもできない時は、予算に定めて翌年度に繰越して支出できる。(地方自治法213条)

※²県央土地開発公社

地域の秩序ある整備を図るため、必要な公有地となるべき土地等の取得、造成その他の管理等を行わせるため、他の地方公共団体と共同して設立出来る公社。
三条市、燕市、加茂市、弥彦村、田上町で組織されており、町では本田上工業団地の事業が公社事業とされている。(公有地の拡大の推進に関する法律10条)



5月11日開催 第3回 臨時会

第3回臨時会が5月11日開
 されました。

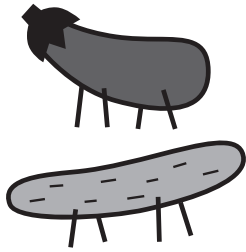
議案内容は、副町長選任及
 び専決処分5件でした。

副町長選任においては小日
 向至氏が賛成多数で同意され
 ました。

専決処分5件の税条例一部改正
 は、地方税法改正に伴うもの
 であり、承認されました。

同じく専決処分、平成23年
 度一般会計並びに特別会計補
 正予算は、収収や、交付金、
 支出金確定に伴うものであ
 り、慎重審議の結果、承認さ
 れました。

また、平成23年度水道事業
 会計においては昨年の豪雪に
 より工事期間の延長が決まっ
 た事に対する予算繰越の報告
 がされました。



全員協議会

期日 平成24年6月4日

協議題

① 五明寺トンネルの補強工
 事について、3つの案が
 示されました。内工工期
 間が最も短く、強度の強
 い※プレキャストコンク
 リート工法が適している
 との説明がありました。

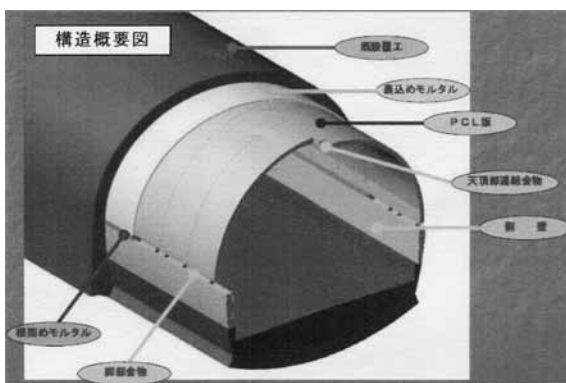
② 子ども医療費助成事業に
 ついて概要が説明されま
 した。

③ 観光CMについて、企画
 概要や経緯、議員意見な
 どが紹介されました。

期日 平成24年6月19日

協議題

五明寺トンネルの補強工事
 については、前回の全員協議
 会で理解できない点が多かつ
 たため、設計会社から参考人
 を招致し、質疑を行いました。



【参考資料】
 プレキャストコンクリート
 工法
 あらかじめ（プレ）、工
 場で型に入れて形を整えた
 （キャスト）高硬度のコン
 クリートパネルを製造し、
 現場で組み立てる工法のこ
 と。工期が大幅に短縮され
 る。



プレキャスト版設置状況



プレキャストコンクリート工



松原 良彦 議員

一般質問

高齢者 要援護者の 避難施設に ついて

問 避難指示を発令した時に災害弱者の避難場所について伺います。

昨年の7・29豪雨水害において、町当局は一次避難所としての町民体育館を指定しましたが、いまだに福祉避難所については、明確な答えが示されていません。私は、いろいろな災害がこれから起きると言われている中で、町で一番安心できる建物、ごまどう湯っ多里館、YOU・遊ランドの二施設を提案し、町長の見解をお聞き致します。

町長 福祉避難所は、現在四カ所指定してありますが災害の種類や災害の大きさ、発生場所などその時々、状況な

どを十分考慮しながら、臨機応変に対処したいと思っております。
したがってごまどう湯っ多里館、YOU・遊ランドにつきましては指定する事もあり得ると考えております。



▲春一番が過ぎ去った後

農業の振興と 今後の対応に ついて

問 町の農業人口は、毎年減少し、尚且つ高齢化が進み、

他の市町村同様農業に携わる担い手の育成の遅れ、集落営農組織の停滞感が強く感じられます。

又、今まで取り組んでこられた【品目横断的経営安定対策】が今度は新しく【農業者戸別所得補償制度】に代わりました。どちらの方が町に良いとお考えでしょうか。

農家人口の高齢化や、耕作放棄が見える中で、規模拡大加算や、人・農地プランの計画など町のこれからの対応をお聞かせ下さい。

町長 どちらも農業経営の安定の確保を目的としています。が、農業者戸別所得補償制度のほうが小規模農家でも取り組めるし、多くの農家の皆さんが、国の制度で助成が受けられると思っております。

又、人・農地プランは、集落や自治体等のエリアが基本ですが、広い地域でも可能となっております。

今後は、事業概要あるいは

作成方法及びアンケート結果の説明など、農家代表や農業委員、田上町農業再生協議会が中心となって、話し合いで合意形成をして、集落ごとの原案を提出後、最終的には町全体のプランを作成するように検討してまいりたいと考えております。



▲ラジヘリによる水田防除



常任委員会付託案件審査

総務産経常任委員会

加茂市道区域外認定の承認について

昭和61年に県道「加茂巻線」が市道「駅前加茂新田線」に変更になった際、田上町保明新田地内分の道路を加茂市が区域外認定の承諾依頼をしないでいたものです。

昭和33年から平成22年の加茂大橋開通による県道の認定についての詳細な説明がありました。

質疑では、その間田上町の負担や管理は無かったことがあきらかになりました。

審査の結果、承諾されました。

平成24年度一般会計補正予算（第1号）

歳入では子ども医療費助成と繰越金です。

歳出は人事異動に伴う補正です。

総務費の備品購入費として庁用車の入替に伴う費用54万8千円を補正するものです。自治振興費で清水沢一区の集落集会場施設整備費で11万円補助するものなどです。

質疑では、庁用車について集中し、当初予算ではなく何故この時期の補正なのか。庁用車の使用頻度、運用形態、電気自動車・ハイブリッド車は検討したか、4WDまで必要ないのでは等の質疑がありました。

答弁では、当初予算に盛込むべきところだがサスペンションの不具合により多額の修理費が掛かる為、17年間も使用してきて来年3月車検を迎えることから急遽代替の提案になったとのことでした。使用形態は県内使用が中心で、現在走行10万キロに達しているとのことでした。電気自動車等は走行距離とその分の車両価格が高い分を比較すると

ガソリン車の方が有利であるとの説明がありました。4WDについては雪道での安全性から運転手からも強い希望が出されているとの事でした。

また、当初予算に盛込まれていない車検費用は来年3月議会で減額補正することです。

集落集会場施設整備費については、今回大雪による破損で修理するものですが、自然災害については補助率を上げても良いのではと言う質疑もありましたが、集落管理のもので従来どおりの二分の一補助をしていくとの答弁でした。

同年度田上町下水道事業特別会計補正予算、同年度田上町水道事業会計補正予算はいずれも人事異動に伴うものです。

いずれも原案可決されました。

委員長 池井 豊



社会文教常任委員会

印鑑条例の一部改正は、住民基本台帳法の一部を改正する法律が改正され、本年7月9日から施行されることに伴い、条例改正が必要となったものです。従来、外国人住民は住民基本台帳法と外国人登録法により把握していましたが、外国人住民も住民基本台帳法の適用対象に加える改正が行われるものです。

質疑では、現在町では外国人登録は、35人であるとの説明がありました。

手数料徴収条例の一部改正は、印鑑条例の改正と同様に、住民基本台帳法の一部が改正されたことに伴い、外国人登録法も改正されたことによるものです。

子どもの医療費助成に関する条例の一部改正は、県の医療費助成が拡充されることによる改正と、それに伴い町の制度も拡充することによる改正であります。

通院では現状、県制度で1・2子世帯は3歳未満までのものを、町制度により小学校卒業までに拡充済みであり、3子以上世帯では小学校卒業までであったものを、県制度により中学校卒業までに拡充するものです。

入院では現状、県制度で1・2子世帯は小学校卒業までのものを、町制度により中学校卒業までに拡充、3子以上世帯では、小学校卒業までのものを、県制度により、中学校卒業までに拡充するものです。
(※下記比較表参照)

質疑では、更なる制度改正の考えはあるのかとの質問で県の今後の制度改正の動きや予防接種事業での町の負担の動向、町の財政計画等の中で検討したいとの答弁がありました。

一般会計補正予算(第1号)では、主に4月の職員の人事異動による給料、手当等の補正でありましたが、民生費では幼稚園の給水設備の修繕、

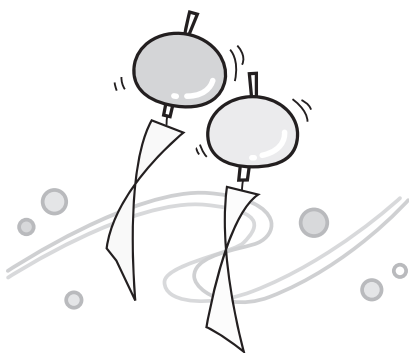
衛生費では、子ども医療費助成の拡充による補正、教育費では心起園隣の陶芸棟屋根修繕の補正等があります。

質疑の中では、幼稚園の給水設備の修繕に関連しては凍結による破損がないよう水抜き弁を設ける。

子ども医療費助成に関連しては、保護者の負担軽減や加茂医師会からの要請もあつたとの説明がありました。

いずれも原案可決されました。

委員長 熊倉 正治



※①田上町の拡充制度

平成24年9月1日拡充

区分	通院	入院
対象者	小学校卒業まで ↓ (平成24年9月から) 小学校卒業まで 3人以上子どもを有する世帯は全子中学校卒業まで	小学校卒業まで ↓ (平成24年9月から) 中学校卒業まで
自己負担額	医療費	530円/日(月4回まで)
	食事療養費	260円/食

②新潟県の拡充制度

区分	通院	入院
対象者	3歳未満 3人以上子どもを有する世帯は全子小学校卒業まで ↓ (平成24年9月から) 3歳未満 3人以上子どもを有する世帯は全子中学校卒業まで	小学校卒業まで ↓ (平成24年9月から) 小学校卒業まで 3人以上子どもを有する世帯は全子中学校卒業まで
自己負担額	医療費	530円/日(月4回まで)
	食事療養費	260円/食
補助率	県1/2、市町村1/2	

所管事務調査報告

総務産経常任委員会

期日 平成24年4月23日

(1) 土砂災害防止法について

土砂災害防止法とは、がけ崩れ・土石流・地滑りから国民の生命を守る為に、土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域を指定していくものです。羽生田地区で説明会が開催されたことを受けて調査いたしました。

質疑では、説明会が終わった地区から順次指定していくことと、田上地区は平成24年度から1～2年で調査するところがあきらかになりました。

(2) 三条地域水道用水供給企業団の創設事業の再開について

水需要の推移から延期されていた創設事業を平成29年度から再開することが説明されました。

現地視察

三条地域水道用水供給企業団浄水施設と大谷ダムを企業団職員の説明のもと視察し、安全に管理されて田上町に供給されていることを確認してきました。



▲三条地域水道用水供給企業団視察

期日 平成24年5月23日

(1) 平成24年度農業関連事業について

平成24年度の生産目標数量、戸別所得補償制度、水田作物に対する支援、畑作物に対する支援、各種加算措置等の説明を受けました。

質疑の中から「人・農地プラン」について町がもっと主体的に取り組む必要性があらかになり、今後も継続的に調査していきます。

(2) 平成24年度観光関連事業について

あじさいまつりを前に、観光関連事業の調査を行いました。

現地調査

中部北陸自然歩道の大沢から菅の沢まで実際に歩き、活用状況や観光資源としての有用性を調査しました。

委員長 池井 豊



▲中部北陸自然歩道

社会文教常任委員会

期日 平成24年5月17日

幼稚園の運営状況等について、園の視察を含め調査を実施しました。

入園状況は4月現在264人であり、前年は261人であったとの説明がありました。

保育状況は通常保育の他、早朝、夕方の預かり保育、18時から20時までの延長保育（有料）乳児保育、障がい児保育、一時預かり保育、支援センターの業務等の説明があり、園バスの運行状況は、49人乗り2台、79人乗り1台の計3台で運行しており、登園利用84人、降園利用76人（3歳以上）の実績があるとの説明がありました。

職員数の状況は保育士、調理員、管理員等全体で83人うち正規職員は27人、非常勤職員30人、短時間職員26人の体制にあるとの説明がありました。

た。

主な質疑や意見では、0歳児は現在8人であるが、今後7人希望があり、これ以上の入園は無理ではないか。広域入所は加茂市、新潟市等に16人が入所している。年度当初入園申し込みのあったものは、全て入園許可を行った。町における幼稚園の役割は、

田上の12カ年教育の土台である、けががないよう責任を持つて育てたい。入園式等を見ていると施設がすでに手狭ではないか。未満児の入園問い合わせが多くなっている等の様々な質問や意見が出されました。

国の「社会保障・税一体改革」では、子ども・子育て分野の方針は明確でない面もあり、今後も調査研究の必要があると考えております。

委員長 熊倉 正治

一部事務組合等報告

加茂市・田上町消防衛生組合

3月定例会

期日 平成23年3月28日
場所 加茂市市役所

平成24年度一般会計予算など3議案を審議し、承認・可決されました。

1号議案は、平成23年7月豪雨の災害防災支援活動に伴う専決処分であります。

2号議案は、職員2名の定年延長による退職手当などの減額に伴う減額補正であります。

町の負担金が、1千41万6千円減額されました。

3号議案は、予算総額9億375万8千円であり、前年比1億534万8千円、率で10.2%の減となっております。

昨年度計上した、高規格救急車経費及び、退職金充当経費の減によるものです。

組合議員

関根 一義
渡邊 正策
皆川 忠志
今井 幸代

中越福祉事務組合

第2回定例会

期日 平成24年4月25日
場所 まごころ学園

副議長の選任では加茂市の茂岡明与司氏が全員一致で承認されました。

補正予算の件では、130万2千円を追加し、予算の歳入歳出の総額3億8千383万1千円を原案通り可決されました。

監査委員の選任について提案があり、見附市の上野勝氏が承認されました。

組合議員 松原 良彦

